

周南市立新南陽市民病院改革プラン
平成23年度 目標達成に向けた取組の実施状況

目標達成に向けた取組 (改革プランP. 6~8)	実施状況 (主な事例) 等
ア 入院患者数増加への取組	1日平均入院患者数: 127.9人(目標128人) 対前年比▲1.2人
(ア) 外来患者数の確保	病院プロジェクトの実践 → ①地域連携の強化, ②接遇研修会の開催, ③部署別計画事業の実施
(イ) 具体的な目標の設定	診療科別に設定 → 病院経営連絡会議で協議
(ウ) 急患・救急患者への対応	救急車搬送患者数: 861人 対前年比+6.7% 時間外救急患者数: 1,934人 対前年比+0.1%
(エ) 地域連携の強化	地域連携室(H22.7.1設置)が核となり調整 紹介率: 41.6% 対前年比+6.4% 逆紹介率: 35.9% 対前年比+26.0%
イ 外来患者数増加への取組	1日平均外来患者数: 322.3人(目標340人) 対前年比▲3.4人
(ア) 地域医療への貢献	新南陽市民病院の果たすべき役割(改革プランP.4)の実践 → 中須診療所へ医師(H23.2~), 看護師2人の派遣(H23.4~): 毎週木曜日午後
(イ) 地域連携の強化	地域連携室(H22.7.1設置)が核となり、長寿社会づくりソフト事業の活用 市民公開健康講座の開催, 整形医連携マップ, 糖尿病地域連携ファイルの作成・配布等
ウ 主な収入の増加・確保対策	
(ア) 医師の確保	山口大学との信頼関係の維持, 救急医療管理手当, 麻酔管理手当の創設
(イ) DPC(包括評価制度)の導入	他病院視察(H23.8.5)及び情報収集, 講演会の開催(H23.8.26) ⇒ DPC準備病院に手上げ
(ウ) 治験業務の実施	糖尿病関連で実施
(エ) 外来化学療法への取組	外来化学療法加算Ⅱを算定(H21.12月分~)
(オ) クリニカルパスの活用	整形外科, 泌尿器科, 眼科で実施
(カ) NST(栄養サポートチーム)の設置	専門スタッフの研修を実施, 関連要綱等の整備
(キ) 適切な診療報酬の確保	定期的な学習会の実施
エ 主な経費の削減・抑制対策	
(ア) 医療機器等の計画的導入	医療機器選定委員会の開催
(イ) 医療材料の適正管理	診療材料管理システムによる適切な在庫管理, 棚卸の実施(年2回), 医療材料選定委員会の開催(1回/2箇月)
(ウ) 院外処方の積極的な推進	外来院外処方率: 86.3% 対前年比+0.9%
(エ) その他の費用の削減	薬品費, 委託費等の見直し
オ その他の主な対策	
(ア) 職員の意識改革	病院経営連絡会議(医師, 事務方で構成)の開催, 病院等連絡会議や文書配布及び院内 ランの活用などによる経営実態情報の共有化
(イ) 患者サービスの向上	接遇研修の実施(委託を含む全職員対象: 4回実施 325人参加 <不参加者5人>), 外来及び入院患者アンケート調査の実施 → 改善策, 病院等連絡会議等で職員に周知
(ウ) 勤務評価制度の導入・給与体系の見直し	「やる気応援特別手当」の支給
(エ) 広報活動の強化・充実	ホームページの充実化, CCS番組の活用(院内行事のお知らせ等), 「周南市立新南陽市民病院だより」の作成・配布
(オ) コンサルタント等の活用	行政経営アドバイザーの活用